

○用語解説 (50 音順)

ICT

情報通信技術のこと。

EC (電子商取引)

「Electronic Commerce」の略称。インターネットを利用して、受発注がコンピュータネットワークシステム上で行われること。

インキュベーション

起業家の育成や、新しいビジネスを支援する仕組みなどのこと。

インバウンド

外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。

SDGs

「Sustainable Development Goals」の略称。2015 (平成 27) 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2030 (令和 12) 年までの国際目標で 17 のゴールと 169 のターゲットが掲げられている。

オープンデータ

地方公共団体等が保有する公共データを、機械判読に適した形式により、二次利用可能なルールの下で公開すること。

CRM

「Customer Relationship Management」の略称。顧客属性や購買履歴といったデータを蓄積・管理し、それぞれの顧客に応じた最適なサービスを提供することで、長期的な関係を築き、顧客満足度の向上や取引関係の継続に繋げる取組。

シェアサイクル

自転車を共同利用し、どのサイクルポートでも貸出・返却ができるようにしたシステム。

ジオパーク

地質学的な遺産を保護し、科学教育や防災教育の場とするほか、新たな観光資源として地域の振興に生かすことを目的としたユネスコの正式事業。

セーフコミュニティ

「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」との考えのもと、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果に基づき、地域住民、行政、関係団体などが協働して事故やけがを予防する取組のこと。または、その取組を進めているコミュニティ。

地域経済分析システム (RESAS)

地方創生の様々な取組を情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房が提供しているシステム。

地消地産

「地産地消」が「地元でとれた生産物を地元で消費すること」であるのに対して、「地消地産」は「地元で消費する食材等を地元から調達すること」。

DX (デジタル・トランスフォーメーション)

「ICT の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という考え方。

DMO

「Destination Management /Marketing Organization」の略称。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた組織。観光庁が、「登録要件」の全てを満たす観光地域づくり法人を「登録DMO」として、その候補となり得る法人を「候補DMO」として登録し、登録を行った法人及びこれと連携して事業を行う関係団体に対して、関係省庁が連携して支援を行うことで、各地における観光地域づくり法人の形成・確立を強力に支援することとしている。

都市経営

人、物、情報などを効率的、効果的に組み合わせ、課題を解決し、よりよい都市にしていくといった「都市を経営する」視点に立った自治体行政の考え方。

ナイトタイムエコノミー

夜間 (一般的には、日没から日の出まで) の経済活動のこと。夜間の様々な活動を通じて、地域の魅力や文化を発信し、消費拡大などにつながる考え方。

プラットフォーム

事業推進の基礎となる組織体のこと。

プロモーション

受け手が、製品やサービスに対する意識、関心を高める活動のこと。

MICE

多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

マーケティング

顧客が真に求める商品 (サービスを含む) を作り、その情報を届け、顧客がその商品を得られるようにする活動を表す概念のこと。

ユニバーサルツーリズム

高齢や障がい等の有無にかかわらず、すべての人が楽しめるよう創られた旅行。

リノベーション

古い建築物の機能を今の時代に適したあり方に変えて、新しい機能を付与すること。

連携中枢都市圏

地方圏において、昼夜間人口比率おおむね 1 以上の指定都市・中核市と、社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村とで形成する都市圏。

ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。